

2025 年  
05 月 28 日(水)  
第 394 号

# 日本共産党札幌市議団ニュース

日本共産党札幌  
市議団事務局  
TEL：211-3221  
FAX：218-5124

## 会計年度任用職員問題／ノースサファリ問題

### 公務サービスの向上に有効／任用期間の上限撤廃迫る 3 月 13 日予算特別委員会／会計年度任用職員で田中市議



任期が原則 1 年、再任用で  
きる回数が原則 2 回とされ、  
3 年目に公募試験を受けない  
場合は雇止めとなる会計年度  
任用職員は、公務職場で働く  
非正規職員ですが、国が事務

処理マニュアルで 3 年目公募の上限規定を撤廃  
したため、全国の地方自治体での取り扱いが注目  
されています。

昨年この問題を取り上げた党議員に市担当課長  
は、「他都市の検討状況」を踏まえて検討してい  
くと答弁していました。

田中啓介市議は、任用限度を検討する上で、「各  
所管部局の会計年と任用職員制度の運用の実態を  
どのように把握」していくのかと質問。担当部長  
は、地域の実情に応じた対応を苦にから指示され  
ていること説明し、ヒアリングなどの実施を検討  
していると答弁しました。

秋田県では、職員のスキルやノウハウの有効活  
用で、県民に寄り添った質の高いサービスを確保  
することをめざし、また、石狩市では、運用継続  
を望む声が多くありて、当事者の雇用安定を市が  
配慮すると判断して上限を撤廃。田中市議は、こ  
うした全国的な事例も紹介し、スキルを持つ会計  
年度任用職員に変わり、新たに人材を確保、育成  
することや、築き上げた信頼関係を一から再構築  
することは、「市民にとっても不利益」「市民サー  
ビスにも影響」がると、上限撤廃の決断を迫りま  
した。

### ノースサファリ、違反承知の建物増築／副市長「強い対応の 余地あった」／小形市議への答弁



札幌市南区の民間動物園  
「ノースサファリ」が都市計  
画法違反を繰り返してきた問  
題が 3 月 19 日の予算特別委  
員会で議論され、日本共産党  
の小形香織市議は、市の除却

勧告が 2 度目の 2006 年から 3 度目まで 18 年か  
かり、その間に第一種動物取扱業や飲食店業等の  
登録がされながら、履行期限を示すことなく口頭  
での指導を重ねたことにふれつつ、「大規模に集  
客し動物の命を預かる公益性の高い施設が違反を  
繰り返していることへの強い対応が必要であっ  
た」と指摘しました。

小形市議から、市の危機意識の欠如や今後の対  
応を問われた天野周治副市長は、施設が拡大され  
る状況がある中で「より強い対応をする余地も  
あった」との考えを示し、調査や指導を行う手法  
を効果的に取り入れることや、改善が見込まれな  
い場合は監督処分も検討する等厳正な姿勢で挑ん  
でいく方針を明らかにしました。

都市計画法では市街化調整区域での建築を原則  
認めていませんが、同施設は違反を承知で次々と  
増築を重ね、市に「合法的に運営する、現地での  
営業は一時的、などと説明し、対応を引き延ばし  
てきました。

小形市議は、違反状態が進むことの重大性を認  
識していたのかと質問。市の担当部長は「自主的  
な是正を促す」と強制力のない行政指導が長年に  
わたって続いたと説明しました。